

中温性細菌由来PPK2クラスIIIポリリン酸キナーゼ (33.4 kDa)

Cat. No. CEGZ-6414

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	分子量33.4 kDaの組換え中温性細菌由来クラスIII PPK2ポリリン酸キナーゼ。
用途	研究用途および中温条件下における、ポリリン酸 $\square$ 動型の in vitro NMP/NDP リン酸化ならびに ATP 再生用。
別名	PPK2クラスIII; ポリリン酸キナーゼ (ポリリン酸キナーゼ); ATP: ポリリン酸ホスホトランスフェラーゼ

製品情報

種	細菌性
由来	組換え大腸菌
形態	液体
EC番号	EC 2.7.4.1
CAS登録番号	9026-44-2
分子量	33.4 kDa
特異性	PPK2クラスIII: ヌクレオシド一リン酸および二リン酸。5'-リン酸基が3基を超える過リン酸化が生じる可能性がある。
基質	AMP、ADP、その他のヌクレオシド一リン酸および二リン酸、ポリリン酸
反応	$ADP + (\text{リン酸})_n = ATP + (\text{リン酸})_{n-1}$ $AMP + (\text{リン酸})_n = ADP + (\text{リン酸})_{n-1}$
備考	ATP再生に適した中温性酵素。大腸菌 (E. coli) で産生した組換えタンパク質をHis6タグアフィニティクロマトグラフィーにより精製。最適反応時間および酵素濃度は基質により $\square$ 動する場合があります。
プロトコル	70 mM Tris-HCl、pH 7.6 (37°Cにて) 10 mM MgCl ₂ 5 mM AMP 6 mM ポリリン酸 酵素 0.04 g/L 37°C、2時間
使い方	研究用および体外 (in vitro) 使用のみに限定されます。

保管・発送情報

保存方法	-20°C
------	-------